

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 23 日現在

機関番号：32689

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2013～2015

課題番号：25870825

研究課題名(和文) グローバル化するハラールとアジアにおける日常実践と宗教規範の相互作用の比較研究

研究課題名(英文) A comparative study on Interactions of Globalizing halal, Daily Practices, and Religious Norms in Asia

研究代表者

砂井 紫里 (SAI, Yukari)

早稲田大学・イスラーム地域研究機構・招聘研究員

研究者番号：90367152

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,500,000円

研究成果の概要(和文)：宗教規範あるいは行動指針としてのハラールが、政府・産業の次元において公的に言及され、基準の規格化と認証システムの導入など「上からの制度化」が進む一方で、日常の生活実践の次元では多様なハラール認識がある。人びとは自らの判断基準や社会関係によって選択していること、サービス提供者の誠実さが重要であること、宗教規範の再解釈によってムスリムと非ムスリムが協働する活動分野が再発見・再創出されていること等が明らかになった。

研究成果の概要(英文)：This research project explores the current state of halal industry and consumption in Asia, focusing on the process of introducing modern halal industry, and the discourses and practices of halal food consumption. Based on the ethnographic research, the project argues the relationship between religious norms/commercial values and local cultures/Islamic values in China, Taiwan, Malaysia and Japan. Each case suggests that top-down management of halal matters at governments/industry level develop industrial standards and certification systems, which are not necessarily correspond personal choice in peoples' everyday life. In terms of access to and the culinary image of halal food in everyday life, it was found that Muslims prioritize service providers' honesty and responsibility, while non-Muslims consume halal food as an alternative to local cuisine or as an economic tool.

研究分野：文化人類学

キーワード：ハラール 食文化 グローバル化 イスラーム 制度化 規格 日常実践 協働

1. 研究開始当初の背景

申請者は、これまで、中国の東南沿海地域のムスリムの食事行動とコミュニケーションについて調査研究を行ってきた。その結果、ムスリムがマイノリティである地域において、所与の環境の中で、いかに「正しい」、「清真」な食べ物を獲得するか、人びとは工夫し、時に妥協をし、やりくりをしながら、多様でしなやかな食実践が行われていた。一方、グローバルな人・モノ・情報の移動と宗教市場の拡大のなか、イスラーム法(シャリーア)で「許された」を意味する行動指針である「ハラール」(アラビア語を語源とする)を付加価値とした商品・サービスを扱うハラール産業が世界各地でみられ、さらにその品質管理のための法整備、認証制度の導入など、さまざまなレベルで取り組まれている。例えば、ハラール認証制度は、きわめて現代的な事象であり、産業規格、現代科学技術等とイスラーム的価値感とを融合させ、かつそうした知識が国境を越えてやりとりされている。ハラールという指針は、言行などムスリムの日常生活の根幹にかかわるものであり、ハラール産業で整備される「ハラール」や言説は、人びとの生活実践のなかのハラールとは異なる様相を呈しているように思われた。

2. 研究の目的

以上を踏まえ、本研究では、アジアにおける現代ハラール産業の展開と実態、と同時に個人個人のハラール認識と実践を記録し、地域間比較することで、こうした現代ハラール産業の展開の全体像の一角を描くこと、宗教的規範の再検討を人びとがいかに受容、もしくは受容しないか、生活を変容させているか(しないか)を検討することを目的とした。

3. 研究の方法

上記の目的のため、主に、ハラール食品および料理と食実践に焦点をあて、ムスリムと非ムスリムを対象に参与観察とインタビューを行い、ハラール産業の展開の固有性と共通性、その連関を視野に、中国・台湾・マレーシア・日本について、以下の観点から事例の対照を行った。

- ハラール関連の産業見本市と国際会議における最新動向、各国におけるハラール産業の位置づけ
- 認証および産業関係者への聞き取り、国際的なハラール関連機関の連携とそれに携わるアクターの整理
- 清真の定義と清真をめぐる出来事の通時的変遷
- ハラールメニューを提供する料理店のマッピング
- 生活者の食選択とハラール意識

4. 研究成果

主な成果は、以下の通りである。

(1) 現代の中国語圏において、ハラール産業は「清真産業」と表現されており、ハラール食品については「清真食品」と言及されている。中国においては、従来、イスラーム系の少数民族の慣習として民族政策の中で主に食肉を中心に対応がなされてきたが、近年、経済政策において、海外のハラール認証規格との擦り合わせや、文化資本としての清真の「再発見」が行われている。こうした「上からの制度化」において清真とハラールの意味付けの重点のゆらぎがあることが明らかになった。一方で、必ずしも人々の食実践や語りの中で清真=(イコール)ハラールとは限らない。

(2) こうした政府・産業レベルで進む「上からの制度化」と、人びとが構築する日常生活実践の相互作用として現代ハラール産業を捉えることができる。両者のズレは、日本・台湾・マレーシアにおいても見られる。政府・産業レベルの「規格」、「認証」、「マーケット」に対し、ハラールをめぐる事象についての人びとの語りでは「生活様式」、「世界観」、「誠実さ」といったことばが浮かびあがる。

(3) エスニックビジネスとしてのハラール産業の担い手と消費者が主にムスリムの共同体であったのに対し、現代ハラール産業においては、国・地域・民族・宗教、また政府・地方行政・第3セクター・私企業、生産者から各種産業、消費者、マスメディアと関わるアクターは多様化している。

(4) 中国・台湾・日本のハラール産業において、政府・産業レベルの制度化、規格化、旅行者対応等の各方面において、その程度の差はあれ、マレーシアにおけるハラールの制度化がひとつのモデルとして参照されるとともに、国内の事情に根ざした再解釈と工夫がみられる。例えば、台湾では、外国人観光客誘致をめぐる取組において、モデルとして、ターゲット市場としてマレーシアを焦点化している。移民やムスリムコミュニティのレストランに加え、主に、観光スポットや宿泊施設付設のレストランなどが各県に1つ以上あるようになった。類似の状況は日本でもみられるが、台湾の事例で特徴的なのは経営主体による認証区分を明確化、それをロゴマークで可視化(「ハラール」と「サラーム」(平和、挨拶のことば))、申請プロセスや満たすべき要件の情報公開の点が挙げられる。

(5) ムスリムと非ムスリムの協働がみられる一方で、生活者の視点からは「選択肢が広がる」、「イスラームを知るよいきっかけになりうる」という声とともに「過度な対応はいらない」、「ハラール」という用語使用の是非を問うなどの声があがっている。こうした多声性、生活者の経験知がいかに活かされているのか。「上からの制度化」と人びとの生活世界の交差したところで、現代的ハラールが新たに意味付けられていっている。

現代ハラール産業は現在進行形で展開しており、政治経済、社会文化、多様な価値観の交渉を内包するきわめて動態的な現象である。基準とはなにか、現代ハラール産業の当事者は一体誰なのか、人びとはどのように制度化について捉えているのか。また、提供される料理やサービスのあり方そのものもまたローカルな文化とイスラーム的価値観との交渉過程が具現化したものとして着目していきたい。アウトリーチ活動を通して、マスメディアや私自身も含めた研究者の役割や関与の在り方もまた検討する必要性が明らかになった。今後の課題としたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 4 件)

Yukari Sai, Making Cuisines Halal: Comparative Study of the Impacts of Japanese and Taiwanese Inbound Tourism Policies on their Food Industries, In *Islam and Multiculturalism: Exploring Islamic Studies within a Symbiotic Framework*, 査読無, Organization for Islamic Area Studies, Waseda University, pp.30-36, March 2015

Yukari Sai, Policy, practice and perceptions of qingzhen (halal) in China, *Online Journal Research in Islamic Studies*, 査読有, vol.1, no.2, pp.2-12, August 2014

砂井紫里, アジアにおける「ハラール科学」の発展とその社会・文化への影響: マレーシアにおけるハラールの規格化・科学・語りについての予備的調査, 食生活科学・文化及び環境に関する研究助成研究紀要, 査読無, vol.27, pp.49-59, 2014年6月

SAI Yukari, Halal Policy, Practice, and Perceptions in China, In *Islam and Multiculturalism: Coexistence and Symbiosis*, edited by Asia-Europe Institute and Organization for Islamic Area Studies, Organization for Islamic Area Studies, 査読無, Waseda University, pp. 187-193, March 2014

[学会発表](計 18 件)

砂井紫里, 台湾における「ムスリムフレンドリー」環境整備, 日本マレーシア学会第24回研究大会, 2015年12月13日, 立教大学(埼玉)

福島康博・砂井紫里, アジア四カ国のムスリム対応レストランをめぐる状況の比較 イスラーム地域研究の視点から, 第30回日本観光研究学会全国大会, 2015年11月29日, 高崎経済大学(群馬県高崎市)

Yukari Sai, Halal Food and Muslim-Friendly Services in Taiwan, International Conference on Islam in Global Perspective, 1 November 2015, Abu Dhabi(UAE)

Yukari Sai, Being There: Mosque, Restaurants, and Cultural Landscapes in Non-Muslim Hui Community, East Asian Anthropology Association Annual Meeting2015, 4 October 2015, Taipei(Taiwan)

Yukari Sai, Halal Food Regulation and Consumption in China, National institutes for Humanities of Japan (NIHU) Program for Islamic Area Studies (IAS) Fifth International Conference, Tokyo 2015 "New Horizons in Islamic Area Studies: Asian Perspectives and Global Dynamics", 11 September 2015, Sophia University (Chiyoda, Tokyo)

砂井紫里, 清真とハラールのゆらぎ: 清真の制度化とおよび中国福建省のムスリムと非ムスリムの食実践, 日本文化人類学会第49回研究大会, 2015年5月30日, 大阪国際交流センター(大阪府大阪市)

砂井紫里, 清真とハラール: 現代中国における回族の食と産業, 国際ワークショップ「現代中国における少数民族文化の動態」, 2015年2月14日, 東京大学(東京都文京区)

Yukari Sai, Making Cuisines Halal: Comparative Study of the Impact of Japanese and Taiwanese Inbound Policies on Food Industry, International Conference on Islam and Multiculturalism: Exploring Islamic Studies within a Symbiotic Framework, 13 December 2014, Kuara Lumpur (Malaysia)

Yukari SAI, Challenges for Halal Options in Japan, Malaysia International Research & Education Conference 2014, 3 December 2014, Putrajaya (Malaysia)

SAI Yukari, Creativity and flexibility of cuisine: Comparative study of the impact of Japanese and Taiwanese inbound policies and strategy for Muslim tourists on everyday life, 2014 Annual Conference of the East Asian Anthropological Association, 15 November 2014, Gyeongsan (South Korea)

Yukari Sai, Culinary image and food business as conscience, The International Union of Anthropological and Ethnological Science 2014 with JASCA, 15 May 2014,

Makuhari Messe (Chiba, Chiba)
砂井紫里, 中華文化におけるハラール食品とその消費, 国際シンポジウム「西欧と東アジアにおけるハラール食品消費」, 2014年3月4日, 早稲田大学(東京都新宿区)

SAI Yukari, Halal mark, Culinary Image and Sharing Halal Values in China, International Conference on Islam and Multiculturalism: Coexistence and Symbiosis, 21 December 2013, Waseda University (Shinjuku, Tokyo)

SAI Yukari, Commensality for another Local Community: From the tables at a mosque in South Fujian, China, East Asian Anthropological Association Annual Meeting 2013, 15 November 2013, Xiamen (China)

Yukari Sai, The systematization of 'Halal' Expansion and Convergence: A Case study in China (ポスター発表), NIHU Program for Islamic Area Studies Fourth International Conference 2013, 2-4 November 2013, Lahore (Pakistan)
SAI Yukari, The Current State of Halal Standardization in China, Round Table Meeting at Halal Science, Industry & Buisness International Conference (HASIB) 2013, 14 August 2013, Bangkok (Thailand)

砂井紫里, 中国における清真とハラール: その現代的意味付けと活用, 国際シンポジウム「アジアの国家とシャリーア」ワークショップ「中国, 東南アジアのハラール産業」アジア法学会 春季研究大会・10周年記念シンポジウム, 2013年6月22日, 早稲田大学(東京都新宿区)

SAI Yukari, Halal in Chinese Food Culture, The 1st International Symposium on Food Halalness: Food Halalness in and around South-East Asia, 8 May 2013, Tokyo Institute of Technology (Meguro, Tokyo)

〔図書〕(計 2 件)

Bergeaud-Blackler Florence, Johan Fischer, and John Lever ed. *Halal Matters: Islam, Politics and Markets in Global Perspective*, Routledge, London and New York, 203 頁, June 2015, (担当: Sai, Yukari and Johan Fischer, "Muslim food consumption in China: Between qingzhen and halal", pp.160-174)

砂井紫里編著, 食のハラール, 早稲田大学アジア・ムスリム研究所, 78 頁, 2014年3月

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

〔その他〕

アウトリーチ活動

【エッセイ】

砂井紫里, 中国・台湾の魚食事情とハラール基準における養魚飼料の判断, 月刊養殖ビジネス, 51(9): 58-61 頁, 2014年8月

砂井紫里, 食のハラールをめぐる多様な声と実践, ワセダアジアレビュー, 第 14号, 82 頁-85 頁, 2013年9月

砂井紫里, 化粧品などにみるハラールの拡がり「信頼」, The Daily NNA (アジア経済情報誌) マレーシア版, 第 05079号, 10 頁, 2013年7月

【セミナー・講演等】

砂井紫里, 陸と海がつなぐ美味しいごはん, ムスリムの食卓と中華世界, 南大塚地域文化創造館 平成 27 年度冬の文化カレッジ「世界の食文化～アジア イスラームの食文化～」(全 4 回のうち 2 回) 南大塚地域文化創造館(東京都豊島区), 2016年3月

砂井紫里, 宗教と食, 平成 27 年度文化庁委託事業 ちば多文化協働プロジェクト多文化理解セミナー2015 第 3 回, 千葉・ちば国際コンベンションビューロー(千葉県千葉市), 2015年12月11日

砂井紫里, プレゼンテーション 大学での取り組み紹介, JAPAN HALAL EXPO 2015 セミナー 大学関係者向け特別企画「ムスリム留学生の受け入れ拡大と環境整備」幕張メッセ(千葉県千葉市), 2015年11月25日

砂井紫里, 食卓からみるイスラーム社会, 金沢大学公開講座「イスラーム世界の歴史と文化 III～生活に根ざした宗教」金沢大学サテライト・プラザ(石川県金沢市), 2015年10月25日

砂井紫里, 食卓からみるイスラーム, 早稲田大学エクステンションセンター「世界を知る、イスラームを知る」(イスラーム地域研究機構連携講座・全10回のうち1回)早稲田大学エクステンションセンター中野校(東京都中野区), 2015年4月

砂井紫里, ハラルメニューをつくる: 早稲田大学学生食堂における導入事例から, 東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科「ぐるなび」食の未来創成寄付講座食文化共同研究会第6回公開講義「異文化圏にくらすムスリムの食、非ムスリムによるハラルビジネス」, 東京工業大学(東京都目黒区), 2015年3月7日

砂井紫里, ハラルと食文化, 公益社団法人日本料理研究会主催「ハラールセミナー」, 日本料理研究会(東京都中央区), 2014年12月19日

砂井紫里, よりよく食べる: アジアの飲食文化とイスラーム, 飲食文化研究会第3回例会「いのちと飲食文化」, 国際基督教大学(東京都三鷹市), 2014年6月28日

砂井紫里, 東・東南アジアのムスリムの食べ物と食事, 早稲田大学エクステンションセンター「世界を知る、イスラームを知る」(イスラーム地域研究機構連携講座・全10回のうち1回)早稲田大学エクステンションセンター中野校(東京都中野区), 2014年4月

砂井紫里, 家族とくらし, 食文化, ムスリムを迎える, 癒やしの空間, かわさき市民アカデミーエクセレント II 「世界の宗教 現代のイスラーム」(全12回のうち4回), 新百合21(神奈川県川崎市), 2014年4月~7月

砂井紫里, ハラルの制度化を考える: 中国の場合, 東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科「ぐるなび」食の未来創成寄付講座食文化共同研究会第5回公開講義「文化としての食と宗教、制度としての宗教的な食の認証」, 東京工業大学(東京都目黒区), 2014年2月27日

Yukari Sai, Supporting Muslim Friendly Service at Waseda University, Japan Foundation Program for Young Muslim Intellectuals in Southeast Asia 2013, Waseda University (Shinjuku, Tokyo), 23 November 2013

砂井紫里, 中国の清真/ハラルについて: 料理と食事を中心に, 第8回ハラルビジネス交流会, アットビジネスセンター池袋駅本館(東京都豊島区), 2013年7月25日

(1) 研究代表者

砂井紫里 (Yukari Sai / SAI Yukari)
早稲田大学・イスラーム地域研究機構・招聘研究員
研究者番号: 90367152

ホームページ等

6. 研究組織